

JICA 英国事務所

英国援助情報ヘッドライン

23 January 2006

Vol. 8

今回のトピック

DfID のチャクラバルティ次官にナイトの称号を叙勲(1ページ)

DfID の運営評価報告書が公表される(2ページ)



From: 英国事務所長

<ニュース>

チャクラバルティ DfID 次官ほか DfID 職員が貧困削減に貢献したとして女王から新年に叙勲される。チャクラバルティ次官にはナイトの称号(Knight Commander of the Order of the Bath (KCB))、Unit 2005 の長である Stegmann 氏と Wickstead アフリカ委員会事務局長にはナイトの直近下位に当たる CBE (Commander of the Order of the British Empire) が授与される。(12 月 31 日)

参考情報：英国の叙勲システム <http://www.honours.gov.uk/honours/chivalry.asp>

ジャマイカ国別援助計画が実行に移された。DfID の年間支出額は 250 万ポンドで、さらに年間 550 万ポンドの債務が削減される。(12 月 22 日)

<http://www.dfid.gov.uk/pubs/files/capjamaica.pdf>

DfID の持続的開発に関する行動計画が発表された。内容は、MDG に向けた国際的取組みへの働きかけ、政府開発援助の GNI 比を 0.7% に、援助効果の促進、貧困削減における持続的開発の重視、水・衛生分野への協力強化、気候変動、海洋資源の乱獲、環境への対応など。(12 月 22 日)

昨年の津波災害に関する EU の人道・復興支援についての EC で意見交換が行われた。結論としては、被災地域の支援ニーズは依然として高い、軍と文民の連携や NGO との連携が必要、EU と国連の連携強化、国連基金や合同ニーズアセスメントの活用、現地の住民組織への支援と活用、住民組織に配慮した「顔の見える援助」、インドネシアでマルチドナー基金が果たしたオンバジェット化の成果などが挙げられた。2006 年は議長国オーストリアが支援策取りまとめを引き継ぎ、住宅建設、生活再建、復興を通じた平和構築、社会的弱者への配慮、モルジブの資金ギャップへの対応などが活動計画に盛り込まれる。(12 月 21 日)

DfID は 2004 年から 2007 年にかけての第二次対 UNDP 戦略を発表し、引き続き MDG 達成に向けて支援することになっている。(12 月 13 日)

DfID は運営評価報告書を公表し、2003 年から 2006 年に公共サービス契約にて掲げた 26 の達成目標のうち 19 がすでに達成されたとしている。達成されたものとしては、アフリカでの就学率の向上、アジアでの 5 歳未満時の死亡率の低下、最貧国の債務削減、MDG に向けての国際社会との連携、貧困国向けのパイの援助の増加、パイのプロジェクトの成功率の向上などがあげられている。さらに、事業の効率化にて 3 年間で 4.2 億ポンドの節約が見込まれている。(12 月 9 日)

<http://www.dfid.gov.uk/pubs/files/autumnperfreport05.pdf>

ベン開発相は DfID の農業政策書を発表し、農業、特に小農がサブサハラ地域の発展の鍵

を握るとし、AU や NEPAD も農業を優先分野に位置づけていると述べた。英国は G8 サミット以降のフォローとしてドナーの連携を図り、特に AU や NEPAD の複合的な農業開発計画を支援する。(12月7日)

DfID を含めた全ての英国の政府機関には事業効率化が課されている。DfID は 2004/05 年から 2007/08 年までに以下の方法にて 4.2 億ポンドの持続的な節約を目標にしている。(12月5日)

- ・ 国別援助のプログラム化の割合の増加
- ・ 調達効率化
- ・ バイバースのプロジェクトのパフォーマンス向上
- ・ 貧困国向けの EC 援助の増加
- ・ IDA (国際開発協会) への資金増加
- ・ 事務的経費の削減

<http://www.dfid.gov.uk/pubs/files/efficiency-technical-note.pdf>

DfID は民間企業との連携に関する提言書を作成した。報告書にはインフラ、投資環境整備、貿易、貧困者のビジネス・金融・社会サービスへのアクセスに関して DfID 職員から提供された事例が取り込まれている。(12月1日)

<プレスリリース>

英国はウガンダで複数政党制の移行が妨げられ、事務的経費の支出が目標を大幅に上回っているとして財政支援 5000 万ポンドのうち 1500 万ポンドを減額し、同額を国連が行っているウガンダ北部の人道援助にあてる決定をした。さらに 500 万ポンドについても 2 月の選挙後までは留保することになっている。英国のウガンダ向け総支出は 7100 万ポンドであるが、財政支援を除いた 2100 万ポンドはガバナンス、保健衛生、貧困削減に向けた市民組織と民間組織の支援、ウガンダ北部の紛争解決と人道支援にあてられている。(12月20日)

英国はカンボジア政府と女性の健康に関して 290 万ドルの支援を行うための MoU に署名した。英国は 1997 年に制定された中絶法の実施と家族計画に関して保健省に対して技術協力と資金協力を行う。これは総額 2200 万ドルのカンボジア保健セクター支援の一部である。カンボジア向け支援総額は 3 年間で 6300 万ドルで、調和化、地方政府の効率化、貧困層の生活向上、エイズ対策が含まれている。(12月21日)

英国はインドネシアの津波災害復興支援として 2360 万ポンドを長期的な支援として被災者の職業訓練、中小企業支援、地方政府を通じた住民向けの基礎的サービスの提供に振り向ける。なお、英国の津波復興支援の総額は 2.9 億ポンドで、内訳は人道支援に 7500 万ポ

ンド、防災に 750 万ポンド、長期的復興支援に 6500 万ポンド、インドネシアに 5920 万ポンド（上記の 2360 万ポンドはその一部）、スリランカに 280 万ポンド、インドに 300 万ポンド、募金の税金還付に 5000 万ポンド、EC の人道支援に 5500 万ポンド、スリランカの対世銀債務の軽減に 4500 万ポンドとなっている。（12 月 20 日）

トマス政務次官は教育のファストトラックイニシアティブが 2006 年の目標としている 1600 万人の児童の就学に必要な資金が 5 億ドル不足していることを受け、教育分野の拠出の倍増をドナー社会に訴えた。英国は 5 億ドルの不足額のうち 4000 万ポンド（約 14%）を拠出することを昨年 9 月に決定している。（12 月 13 日）

DfID はスリランカ北東部の津波災害復興支援に 150 万ポンドを追加拠出する。支援は北東県政府事務局に向けられ、国際機関、ドナー、市民社会からの援助をより効率的に使えるように計画、協調、実施、モニタリングの能力向上に使われる。（12 月 8 日）

ブレア首相はエイズ対策に 2750 万ポンドを拠出すると発表した。これはグレンイーグルス G8 サミットのフォローであり、2000 万ポンドがワクチンイニシアティブへ、750 万ポンドが International Partnership for Microbicides に向けられる。英国のワクチンイニシアティブへの支援表明はドナー政府としては一番早い。（12 月 1 日）

<スピーチ>

ブレア首相とスウェーデンのパーソン首相は共同コミュニケを発表し、国連改革の中でも平和構築委員会の設置は年内に実行されるべきとし、EU がそれを支持していることを踏まえて、他の国も歩調を合わせるように促した。（12 月 8 日）

ベン開発相は訪問先のバングラデシュで演説を行い、200 万人が従事している既製服産業はグローバルゼーションの恩恵を得たものであり、バングラデシュ政府はさらに民間企業や市民社会と連携して貿易や産業の振興に努めてほしいと語り、特に労働環境の改善を指摘した。また、バングラデシュの対 GDP の輸出高がアジアで最も低いことに触れ、例として船積みに必要な時間がバングラデシュでは 6 - 7 日もかかるのに対し、シンガポールでは 6 - 7 時間であり、政府及び民間の取り組みを促した。また、投資に関しては投資環境整備に 4000 万ポンドを拠出することとし、世銀、アジア開発銀行、日本、EU、カナダと協調すると述べた。さらに、訪問中に英国とバングラデシュ政府間で送金取極めを交わし、400 万人の在英バングラデシュ人の本国送金の便宜を図ると述べた。（12 月 12 日）

以 上